

田んぼの水探検隊とは



農業用水の温度を体感で当てるクイズ

田んぼの水探検隊

- ・地域の小学生を対象に、通常立ち入りできない、水管橋や農業用施設を、土地改良区職員立会いのもとに探検。
- ・農業用施設を知る、必要性を理解することが目的。

探検内容

- ・分水工で草刈体験
- ・水管橋を渡る
- ・頭首工を見学
- ・揚水機場を見学 など



水管橋って何？

川や谷などを横断する水路の橋。水路が管（パイプ）の場合を水管橋という。農業用や水道などの、水だけを送水している。通常は渡れない。



三郷堰水管橋を流れる水は、最上川から取水した水で、須川を横断させ三郷堰地区の田んぼにかけるため、ポンプで送水されている。



揚水機（ポンプ）が送水する音を聞く

水の駅スタンプラリー

最上川からくみ上げられた水が、どこを通過して「田んぼ」にたどり着くのか、一般の方を対象に農業用水の施設めぐりをしている。

水の大切さや、田んぼの水は地域の資源であることを認識してもらう機会となっている。



「三郷堰・田んぼの水探検隊」に関するお問合せ先 水土里ネット三郷堰 Tel.023-653-3332

田んぼの水探検隊

三郷堰



三郷堰水管橋を探検中

歴史と田んぼの水を学ぶ

天童市にある水土里ネット三郷堰（さんこうぜき）では、平成15年より毎年6月下旬から7月にかけて、「三郷堰・田んぼの水探検隊」を実施している。この三郷堰の名前は3つの郷（旧高掬村、蔵増村、寺津村）に囲まれたことに由来し、大正9年に揚水と耕地整理を目的に組合を設立している。

三郷堰・田んぼの水探検隊では、三郷堰の由来、三つの郷の小学生（寺津小学校、蔵増小学校、高掬小学校）が「三郷堰の歴史と田んぼの水」を学ぶ探検を行っている。

このような取り組みが実施されることになったのは、集落内で農家ではない人が増え、農業用の水路や道路の維持管理が困難になったためだ。用水の多面的な機能を理解してもらい、地域住民の共有財産として認識してもらったために、取り組みを実施している。

水土里ネット三郷堰では、一般の方も参加できる「三郷堰水の駅スタンプラリー」と称した農業用水施設めぐりも、毎年夏に開催している。